

教科 科目名	数学科	学年・科目群	1学年・必修	中学数学での学びを生かして、数と式、集合と命題、2次関数、図形と計量、データの分析について学んでいきます。数学Ⅰの学習をとおして、【継続して挑戦する力】および【探究する力】の育成を目標とします。
	数学Ⅰ	単位数(年間授業時数)	3単位(105時間)	

学習目標 ～科目で身に付けられる「ちから」～			数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
三つの柱	(1)	知識及び技能	数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
	(2)	思考力・判断力・表現力等	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。
	(3)	学びに向かう力、人間性等	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
教科 書材	【教科書】数研出版「新編 数学Ⅰ」 【副教材等】数研出版「3TRIAL 数学Ⅰ＋A」		
ポイント	(1)単元テストの結果による習熟度別少人数授業を実施します。 (2)授業用ノートと課題用ノートを用意してください。課題用ノートは単元テストごとに問題集を解いて提出します。 (3)週末課題と週明け小テストを実施します。授業の進度が速いので、復習に活用しましょう。		
学習評価	評価の観点		
	a	知識・技能	・数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。
	b	思考・判断・表現	・命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を身に付けている。
	c	主体的に取り組む態度	・数学のよさを認識し数学を活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとし、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

学期	月	単元名	学習内容	このように学ぶことで...	こんな力が身に付きます	評価の方法	時数
前期	4	第1章 数と式	1 多項式の加法と減法 2 多項式の乗法 3 因数分解	問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連づけて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすることができるようになる。	継続して挑戦する力	知 小テスト・単元テスト 思 単元テスト・レポート 態 レポート・提出課題	10
	5	第1章 数と式	4 実数 5 根号を含む式の計算 6 不等式の性質	不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めることができるようになる。	継続して挑戦する力	知 小テスト・単元テスト 思 単元テスト・レポート 態 レポート・提出課題	10
	6	第1章 数と式 第2章 集合と命題	7 1次不等式 8 絶対値を含む方程式・不等式 1 集合	日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、一次不等式を問題解決に活用できるようになる。	継続して挑戦する力・探究する力	知 小テスト・単元テスト 思 単元テスト・レポート 態 レポート・提出課題	9
	7	第2章 集合と命題	2 命題と条件 3 命題とその逆・対偶・裏 4 命題と証明	集合と命題に関する基本的な概念を理解するとともに、集合の考えを用いて論理的に考察し、簡単な命題を証明できるようにになる。	継続して挑戦する力・探究する力	知 小テスト・単元テスト 思 単元テスト・レポート 態 レポート・提出課題	7
	8	第3章 2次関数	1 関数とグラフ 2 2次関数のグラフ	2次関数の値の変化やグラフの特徴について理解できるようになる。	継続して挑戦する力	知 小テスト・単元テスト 思 単元テスト・レポート 態 レポート・提出課題	7
	9	第3章 2次関数	3 2次関数の最大・最小 4 2次関数の決定 5 2次方程式	2次関数の最大値や最小値を求めることができるようになる。	継続して挑戦する力・探究する力	知 小テスト・単元テスト 思 単元テスト・レポート 態 レポート・提出課題	12
後期	10	第3章 2次関数 第4章 図形と計量	6 2次関数のグラフとx軸の位置関係 7 2次不等式 1 三角比	二次方程式の解と二次関数のグラフとの関係について理解できるようになる。また、二次不等式の解と二次関数のグラフとの関係について理解し、二次関数のグラフを用いて二次不等式の解を求めることができるようになる。	継続して挑戦する力・探究する力	知 小テスト・単元テスト 思 単元テスト・レポート 態 レポート・提出課題	12
	11	第4章 図形と計量	2 三角比の相互関係 3 三角比の拡張 4 正弦定理	三角比を鈍角まで拡張する意義を理解し、鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求める方法を理解できるようになる。	継続して挑戦する力	知 小テスト・単元テスト 思 単元テスト・レポート 態 レポート・提出課題	10
	12	第4章 図形と計量	5 余弦定理 6 正弦定理と余弦定理の応用	正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連づけて理解し、三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めることができるようになる。	継続して挑戦する力・探究する力	知 小テスト・単元テスト 思 単元テスト・レポート 態 レポート・提出課題	7
	1	第4章 図形と計量	7 三角比の面積 8 空間図形への応用	図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現するとともに、定理や公式として導くことができるようになる。	継続して挑戦する力・探究する力	知 小テスト・単元テスト 思 単元テスト・レポート 態 レポート・提出課題	7
	2	第5章 データの分析	1 データの整理 2 データの代表値 3 データの散らばりと四分位数	データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察することができるようになる。	継続して挑戦する力	知 小テスト・単元テスト 思 単元テスト・レポート 態 レポート・提出課題	8
	3	第5章 データの分析	4 分散と標準偏差 5 2つの変量の間の関係 6 仮説検定の考え方	具体的な事象において仮説検定の考え方を理解できるようになる。	継続して挑戦する力・探究する力	知 小テスト・単元テスト 思 単元テスト・レポート 態 レポート・提出課題	6
							105
教科 横断	単元	データの分析					
	関連	地理総合		地理と密接に関わる実生活のデータについて、整理したり仮説検定の考え方をを用いて考察したりする。			